2013年度 第3四半期決算補足資料

2014年2月12日

株式会社UACJ

© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

目 次

1. 2013年度第3四半期業績

2. 2013年度通期業績見通し

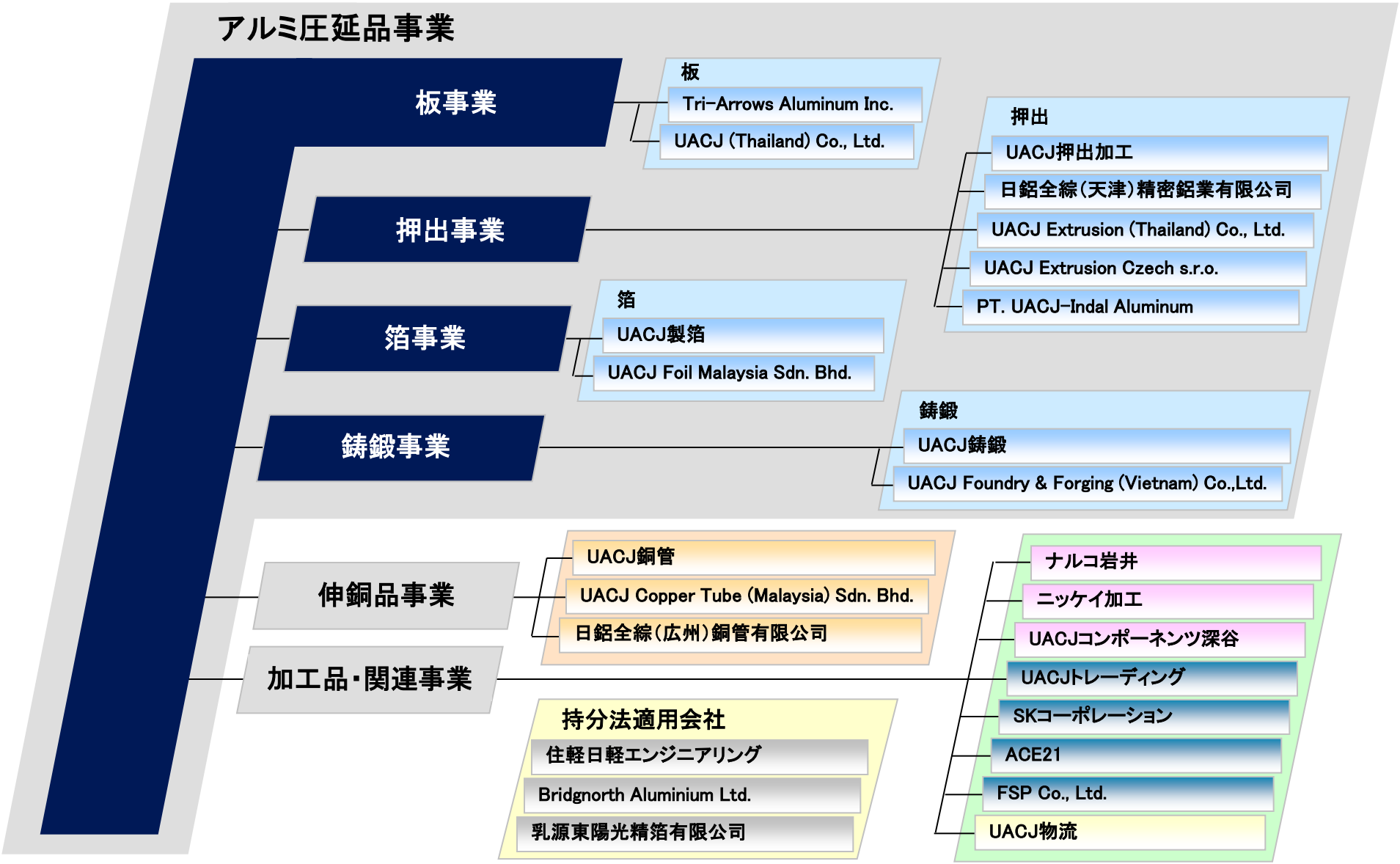
3. トピックス

© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

1．2013年度第3四半期業績

© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

UACJグループの事業分野およびセグメント別主要会社



© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

2013年度第3四半期業績　（旧両社合算ﾍﾞｰｽ）

※本頁以降では、決算短信上の業績数値ではなく、
旧両社合算ﾍﾞｰｽ*での業績数値等を記載しております。

（単位：億円）

	2012年度3Q（旧両社合算ベース）（A）	2013年度3Q（旧両社上期合算+UACJ3Q）（B）	増　減（B）－（A）
連結売上高	3,812	3,956	144
連結営業利益	157	185	28
連結経常利益	121	153	32
連結当期純利益	53	117	64

＊旧両社合算ﾍﾞｰｽ…旧古河スカイと旧住友軽金属工業の合算（TAAHは持分法適用会社から連結子会社に単純組替）

© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

セグメント別売上高・営業利益（旧両社合算ﾍﾞｰｽ）

（単位：億円）

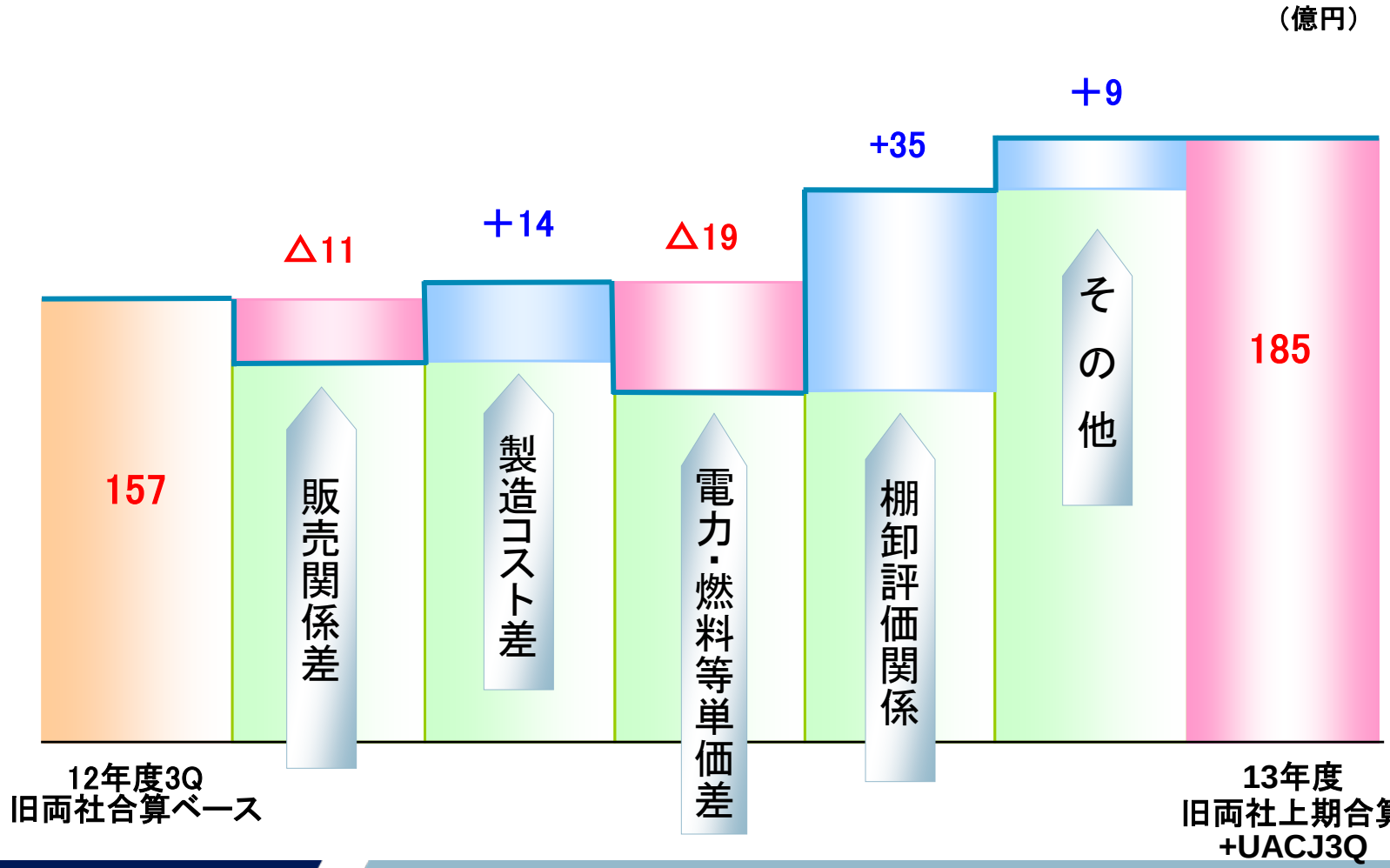
	2012年度3Q（旧両社合算ベース）		2013年度3Q（旧両社上期合算+UACJ3Q）		増　減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
アルミ圧延品	3,004	156	3,125	196	121	40
伸銅品	372	14	347	7	△25	△7
加工品・関連事業	1,149	19	1,060	26	△89	7
（調整額）	△713	△32	△576	△44	137	△12
合計	3,812	157	3,956	185	144	28

© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

連結営業損益分析（12年度3Q→13年度3Q）

（旧両社合算ﾍﾞｰｽ）

157億円（12年度3Q　旧両社合算ﾍﾞｰｽ）→ 185億円（13年度3Q　旧両社上期合算+UACJ3Q）



© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

アルミ板 品種別売上数量（12年度3Q→13年度3Q）
（旧両社合算ﾍﾞｰｽ）

（単位：千トン）

品種		12年度3Q（旧両社合算ﾍﾞｰｽ）（A）	13年度3Q（旧両社上期合算+UACJ3Q）（B）	増減（B）－（A）
アルミ板	缶材	469	474	5
	箔地	37	36	△1
	IT	31	12	△19
	自動車	57	55	△2
	厚板	24	28	4
	その他一般材	117	114	△3
	計	735	719	△16
		国内市場向け 399 海外市場向け 336	国内市場向け 394 海外市場向け 325	△5 △11

© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

合併処理について①

昨年10/1の経営統合により、のれん477億円が発生。
- 合併により発生したのれん365億円
- TAAH連結子会社化による発生のれん112億円

20年間で償却

（単位：億円）

	簿価	
2013/9末　住軽金自己資本(簿価)	631	
資産負債時価評価他	△329	土地、退職給付引当金、非上場株式等
住軽金時価純資産　A	302	
取得対価　B	667	交付株式の合併日の時価総額662億円 （交付株式201百万株×329円/株） 取得に要した諸費用　5億円
合併により発生したのれん）B－A	365	
TAAH連結子会社化による発生のれん	112	統合後持分75%分
BS上ののれん　発生額合計	477	
TAAH買収時のれんの未償却残高	△56	2011年7月買収
差引・のれん実質増加額	421	

© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

合併処理について②

合併・時価評価による旧両社合算ベースからの影響額

（単位：億円）

	3Q実績 10-12月	下期予想 10-3月
のれん償却費増加	△5	△10
無形資産等の償却増加額	△2	△4
退職給付費用の減少	5	10
営業利益ベース　変化額	△2	△4

© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

主要連結経営指標

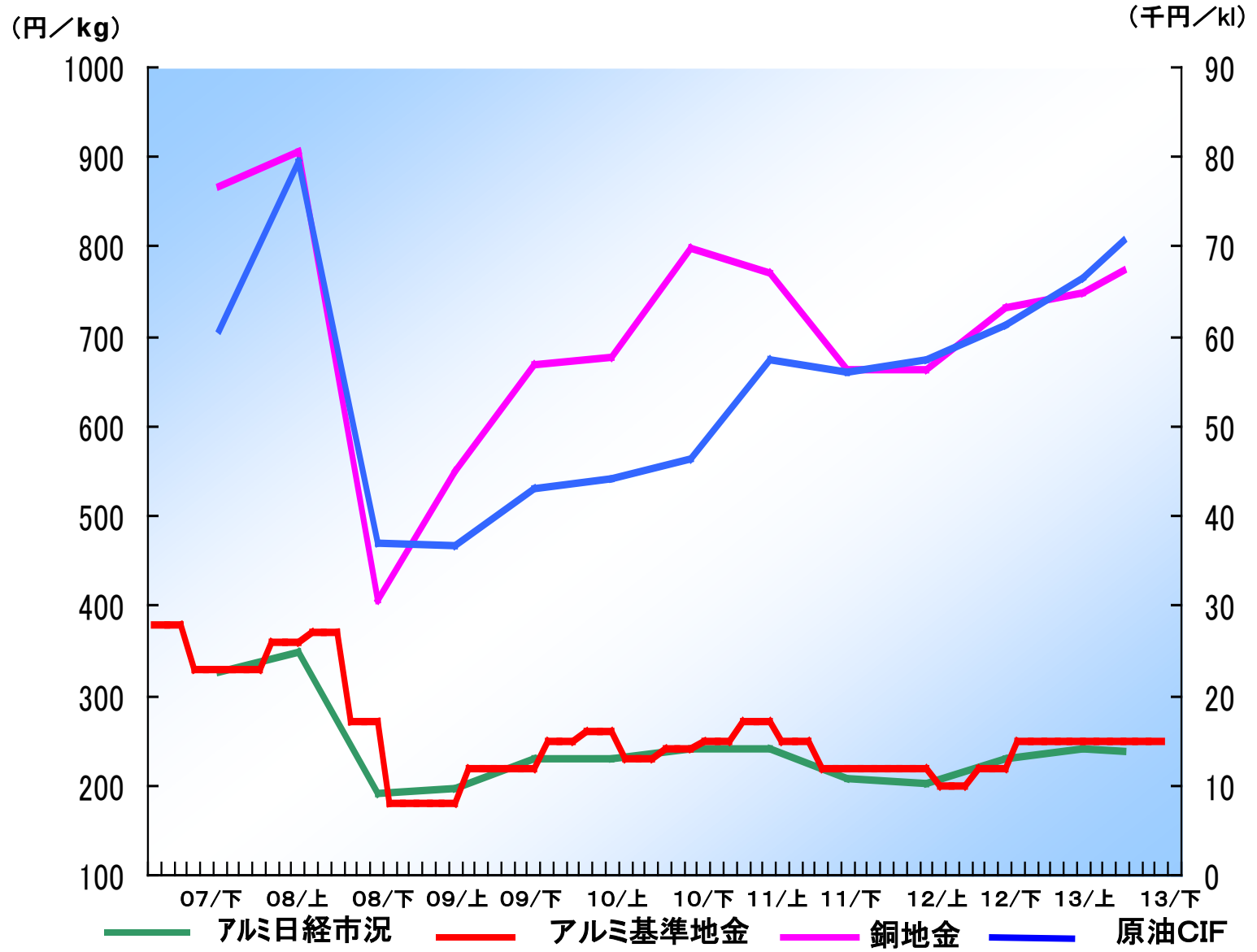
	13/12末
自己資本 （億円）	1,548
自己資本比率 （%）	25.5
有利子負債 （億円）	2,536
NET有利子負債 （億円）	2,323
D/Eレシオ （倍）	1.6
NET D/Eレシオ （倍）	1.5
ROE （%）	8.2

※億円未満四捨五入

注）ROEは、旧両社合算ベースの年度予想から計算した概算値。

© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

アルミ地金日経平均・アルミ基準地金・銅地金及び原油価格推移



© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

2. 2013年度通期業績見通し

© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

2013年度通期業績見通し

通期業績見通し （決算短信記載ﾍﾞｰｽ）

売上高：3,800億円、営業利益：165億円、
経常利益：155億円、当期純利益：110億円の見通し

期末配当予想

・期末配当は6円／株を実施予定
（普通配当3円、記念配当3円）
・年間配当　9円／株

© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

2013年度通期業績見通し（旧両社合算ﾍﾞｰｽ）

※本頁以降では、決算短信上の業績数値ではなく、
旧両社合算ベース*での業績数値等を記載しております。

（単位：億円）

	12年度（旧両社合算ベース）（A）	13年度見通し（旧両社上期合算+UACJ下期見通し）（B）	増　減（B）－（A）
連結売上高	5,196	5,500	304
連結営業利益	221	240	19
連結経常利益	178	200	22
連結当期純利益	47	130	83

諸元（2013年度下期）：アルミ地金日経平均　240円/kg，為替　100円/US＄，原油　61千円/KL

＊旧両社合算ﾍﾞｰｽ…旧古河スカイと旧住友軽金属工業の合算（TAAHは持分法適用会社から連結子会社に単純組替）

© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

セグメント別売上高・営業利益見通し（旧両社合算ﾍﾞｰｽ）

（単位：億円）

	2012年度（旧両社合算ベース）		2013年度見通し (旧両社上期合算+ UACJ下期見通し)		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
アルミ圧延品	4,084	217	4,269	253	185	36
伸銅品	491	15	491	8	0	△7
加工品・関連事業	1,543	28	1,462	33	△81	5
（調整額）	△922	△39	△722	△54	200	△15
合計	5,196	221	5,500	240	304	19

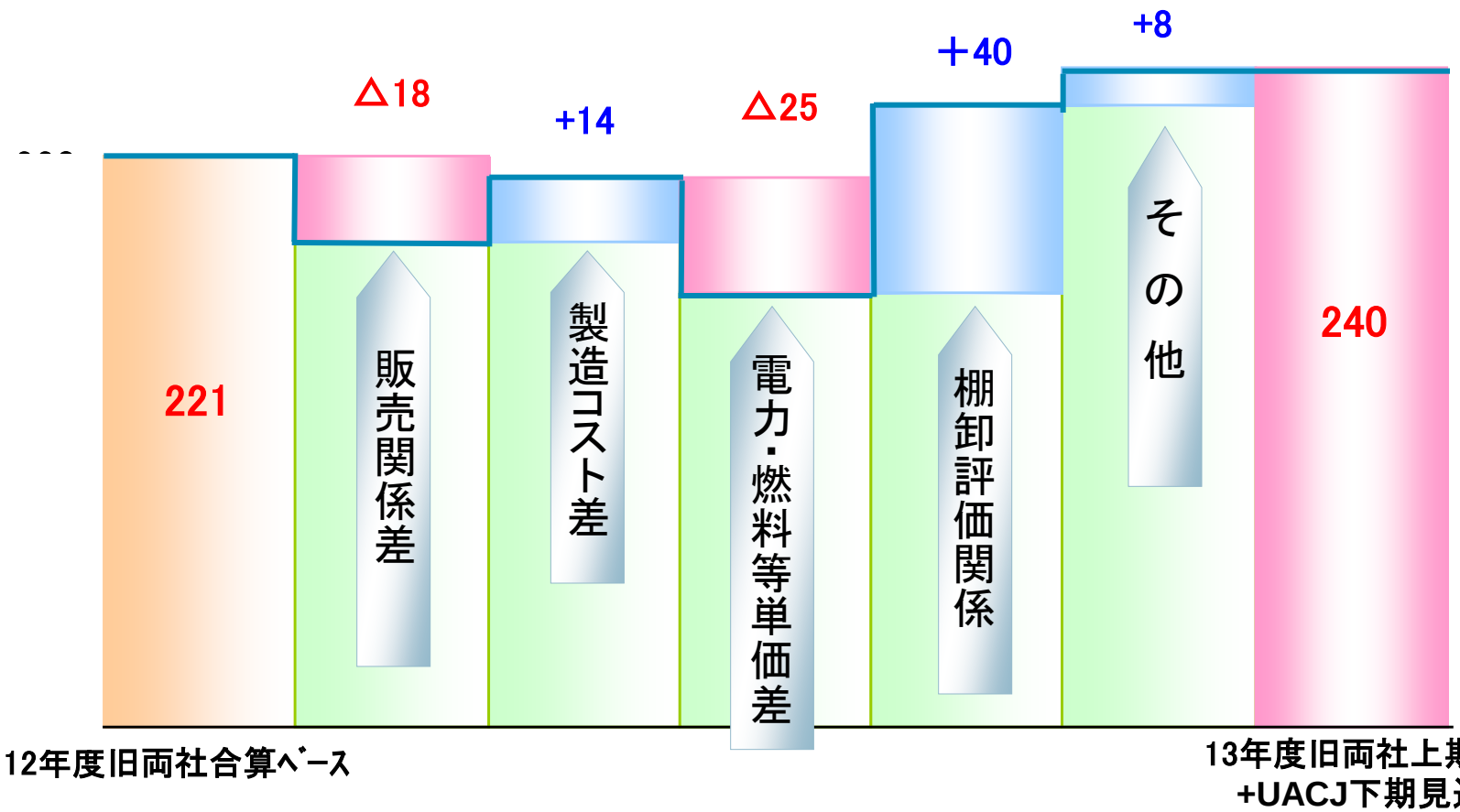
© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

連結営業損益分析（12年度→13年度見通し）

（旧両社合算ﾍﾞｰｽ）

221億円(12年度旧両社合算ﾍﾞｰｽ)　→　240億円（旧両社上期合算+UACJ下期見通し）

（億円）



© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

品種別売上数量（12年度→13年度見通し）

（旧両社合算ﾍﾞｰｽ）

（単位：千ﾄﾝ）

品種		12年度（旧両社合算ﾍﾞｰｽ）（A）	13年度（旧両社上期合算+UACJ下期見通し）（B）	増減（B）－（A）
アルミ板	缶材	654	645	△8
	箔地	47	48	1
	IT	38	18	△20
	自動車	74	74	△1
	厚板	31	39	8
	その他一般材	156	151	△5
	計	1,000	975	△25
		国内市場向け 527 海外市場向け 472	国内市場向け 527 海外市場向け 447	0 △25

© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

設備投資・減価償却費見通し　（旧両社合算ﾍﾞｰｽ）

	12年度 （旧両社合算ﾍﾞｰｽ）	13年度見通し （旧両社上期合算+ UACJ下期見通し）
設備投資	267億円 （内、タイ 94億円）	281億円 （内、タイ 151億円）
減価償却費	231億円	245億円

© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

3. トピックス

© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

トピックス①－１

グローバル化の推進と新規マーケットへの進出

タイ工場第一期操業開始

第一期操業を今年1月より開始。高品質とコスト競争力を両立する本格的アルミ圧延工場として、 2015年度の第二期操業（鋳造工程からの一貫生産）を目指す。

自動車パネル材、米国で共同事業の検討を開始

今後、自動車パネル用アルミニウム材の大幅な需要増が見込まれる米国において、欧州コンステリウム社と共同事業の検討を今年1月より開始。

箔事業で東南アジア市場に進出

UACJ製箔がマレーシアの箔会社を買収し、今年1月にクロージングが完了、100％子会社とする。新社名「UACJ Foil Malaysia Sdn. Bhd.」として、今後高い成長が期待される東南アジア市場で箔事業を展開。

韓国のアルミニウム加工・販売会社に資本参加

昨年9月、エフエスピー㈱（プリズムコリア100％子会社）に資本参加および経営参画。韓国で需要拡大が見込まれる液晶・半導体製造装置向けアルミニウム厚板及び加工品等の販売を拡充。

© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

トピックス①－２

事業推進体制の最適化

旧両社の箔事業会社を統合

今年1月に日本製箔及び住軽アルミ箔が統合し、UACJ製箔が発足。UACJグループにおける箔事業の一体運営体制を構築し、シナジー効果の発揮による事業基盤の強化と事業の成長を目指す。

旧両社の物流事業会社を統合

UACJ物流及びエルコンポをこの4月に統合予定。UACJグループにおける物流関連事業の一体運営を進め、シナジー効果の発揮による事業の基盤強化と成長を目指す。

自動車向けアルミニウム材において製造販売を一元化

自動車ボディの鋼板からアルミニウム材への変更に伴う需要家ニーズに応えるため、新日鐵住金と共同で行ってきた事業運営を、この4月から製造・販売・技術サービス・研究を当社に一元化。

© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

トピックス②－1

マーケット動向（中長期的な業界動向等）

主要品種	地域	業界動向等	トレンド
缶材	国内	少子高齢化、若年齢層のビール離れ等により、国内ビール系飲料の需要は減少傾向。来年度よりコーヒー缶のアルミ化が進展する。進展状況によっては、この数年は横ばい、微増の可能性もある。	→
	海外	新興国の景気減速等により、昨年需要の伸びは鈍化したが、中長期的には東南アジア・中国を中心に著しく需要が増大する。	↗
箔地	国内	少子高齢化で日用品用は中長期的には減少傾向。一方、コンデンサー箔は当面は回復が続く。また、電池材は、車載用中心に民生用も中長期的には増大。	→
	海外	新興国では生活水準の上昇とともに、箔需要（特に日用品用）は堅調に伸びている。東南アジアの箔需要は、中期的に年率10%アップしていく。	↗
IT	共通	2013年度はPC需要の減少をうけたアルミ材の在庫調整により大幅減。中長期的に、スマートフォン、タブレット需要が大幅に増大する一方、PC需要の減少傾向が続く。	→
自動車	国内	2013年度下期は消費税アップ前の駆込み需要があり、2014年度はその反動があるであろう。中長期的にも日本での自動車生産は横ばいないしは微減。燃費向上のため、自動車パネルのアルミ化は中長期的にさらに進展。	→
	海外	新興国を中心に大幅に需要増。2020年の世界自動車生産台数は11,555万台/年と予想（対2012年比＋37%）。燃費向上のため、特に北米市場では自動車パネルのアルミ化が急速に進展。米国では2012年に比べ、2020年には10倍以上の100万トンを超える需要。	↗

© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

トピックス②－２

マーケット動向（中長期的な業界動向等）

主要品種	地域	業界動向等	トレンド
厚板	共通	LNG船用厚板も2017年からの米国シェールガス輸出解禁、2018年末からのカナダ産シェールガス輸出に向け大幅需要増。スマートフォン、タブレット需要増を背景に、半導体液晶製造装置の設備投資も増大。2014年度は2013年度比＋9.5%、2015年度は2014年度比+3.2%の見通し。	
その他一般材	国内	印刷版用板材は、媒体の電子化により減少傾向。エアコン用フィン材についても、2014年度は、消費税アップ前の駆け込み需要及び反動が予測されている。中長期的には、日本でのエアコン生産は横ばいないしは微減。	
	海外	印刷版用板材は、先進国では日本同様漸減傾向であるが、新興国では今後も暫くは増加傾向。エアコン用フィン材は、先進国では伸びが期待できないが、新興国では大きく伸びていく。	

© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは今後様々な要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる場合があり、確約や保証を与えるものではないことをご承知おき下さい。また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、株式会社UACJに帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

本資料ならびにIR関係の問い合わせにつきましては、下記までお願いいたします。

広報IR部　TEL：03-6202-2654　FAX：03-6202-2021

URL：http://www.uacj.co.jp

（東証1部　コード番号：5741）

© 2013 UACJ Corporation. All rights reserved.